

自治会連合会会報

第 20 号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、交通安全パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



平成 27 年 11 月春日部市役所本庁舎で開催した「自治会活動パネル展示」

● 主な内容 ●

- 自治会・町会・地区・区の特徴及び活動状況の紹介
- 各研修会報告
- 地域貢献賞表彰報告
- 春日部市犯罪情報の住民提供等に関する協定
- 自治会加入促進事業報告
- 武里地区の紹介
- 自治会連合会役員一覧
- 地域ぐるみでオアシス運動

平成27年度活動報告

- 正副会長会議…………… 平成27年 4月20日他 7回
- 理事会…………… 4月20日他 6回
- 定例総会…………… 5月15日
- 自治会活動の手引き発行…………… 5月15日
- 春のクリーンデー…………… 5月31日
- 各地区体育祭の実施……………10月12日
(豊春地区体育祭……………10月 4日)
- 研修会(講演・地区事例発表)…………… 10月29日
【演 題】「自治会の活性化と加入促進」
【地区事例発表】「内牧地区 栄町一丁目町会」
- 役員研修会…………… 11月 5日
- 研修会(講演)…………… 平成28年 2月13日
【演題】「地域コミュニティの活性化」
- 地域貢献賞表彰…………… 2月13日

【協力事業】

- ★日赤社員・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★マイバッグ持参運動の推進に伴う、容器包装ごみの削減に協力
- ★災害時要援護者避難支援制度へのモデル自治会として協力
- ★ごみの5分別収集への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力

【その他】

- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整
- ★東日本大震災で被災された方々への義援金及び支援金募金活動等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●



グリーンパーク春日部自治会

自治会長
大野 誠一

グリーンパーク春日部自治会は北春日部駅の西側に位置しております。近くには、隼人掘川、内牧公園等春日部の中では、特に緑に恵まれた場所にあります。平成元年にこつ然と5階建マンションが5棟できて、新しい生活が始まりました。地区の行事（地区体育祭、市民夏まつり、ソフトボール大会、バレーボール大会）に参加することで地区に認められるようになりました。平成12年に内牧四区から独立し、グリーンパーク春日部自治会として内牧地区自治会連合会に加盟し、今日に至っております。自治会の行事としては、春と



放水訓練

秋のクリンデー、年2回の防災訓練（1回目は消防への通報訓練、応急処置、AED、水消火器を使つての消火訓練。2回目は自治会所有のポンプを使つての放水訓練、階段を使った避難訓練、自前の給水キットを使った給水訓練など）、6月の婦人バレーボール大会、7月の市民夏まつり、8月の少年少女ソフトボール大会、グリーンパーク夏祭り、10月の内牧地区体育祭、11月の壮年ソフトボール大会、12月の餅つき大会など多くの行事を行っています。当自治会も高齢化が進んでおり、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、安全安心の生活を目指し、健康維持、健康増進活動を進めていくことが今後の課題となっています。



武里中野地区自治会

自治会長
山崎 勇喜

武里中野地区自治会は、武里小学校と総合体育館「ウイング・ハット春日部」の中央に位置しています。自治会活動といたしましては、5月は春のクリンデー・7月は夏祭り・9月は地区体育祭・10月は薄谷地区と合同の防災訓練を行っています。特に子供会



防災訓練

神社、自治会の合同で行われる夏祭りでは、金魚すくい、くじ引き、子供御輿などが出て子どもたちの楽しい笑顔が多くみられます。さらに、3世代お楽しみ交流会でも多くの方が参加し、仲良く絆を作っております。また、防犯活動では地域の安全を確保するため、防犯委員8人で2組に分かれパトロールを実施して、広報紙・回覧板・掲示板などに大切な情報を伝達しています。福祉活動も共同募金などの社会福祉事業に積極的に協力しております。自治会役員は、自己啓発のため、市で開催される自治会研修会・防犯研修会などに参加し、その内容を役員会で役立て、的確な自治会運営と情報共有を図っていきます。これからの自治会活動は、重点的に大きなイベントには全員



町会だより



5街区町会

町会長
唐沢 奈美子

参加していただき親睦を図り、強い絆を作り、安全で安心できる住み良い街づくりを目標に、役員一丸となり自治会活動に努めてまいりますので、今後とも皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。5街区町会は、市の南に位置し、新方川を挟み越谷市に隣接しています。中層23棟560世帯を抱え、会長、副会長以下安全部、環境部、催事部を置き、月2回の役員会で検討事項を生かす会合を開催

しています。

安全部(防災)では、防災士の指導の下「防災訓練」を中心に防災関連の対応を検討し、実施しています。防災訓練には毎回約250人の参加があります。

環境部では、全世帯参加の「一斉清掃、資源回収、不燃ごみ、ビン・缶の回収日の立ち会い」を実施し、環境美化に努めています。

催事部では、「夏祭り、体育祭」を初め、コミュニケーションの場を多く設け、子どもから高齢者まで、幅広く近所付き合いができて楽しめるよう努力しています。

安全部(福祉)では、高齢者の多い町会ですが、80歳を迎えられる「高齢者のお宅訪問」を行い、お話を聞きし、解決の努力をしています。

子どもの数も少ない町会ですが、黄色のチョッキで見守り活動や地域内の巡回をして、子どもの安全を願って毎日実施しています。

大きな力としては、一つの階段(10軒単位)毎に一人の班長を置き、月1回の班長会を開き町会活動の補助的役割を担っていただいております。

少子高齢化の進む町会ですが、町会加入率98%の信頼を受け、広報誌の毎月発行で会員に町会の今を周知しながら、安心、安全、安穩の町会を目指しています。

大沼ゆりの木自治会



自治会長 田代 一 二

大沼ゆりの木自治会は、西側に向かって国道16号線、東側に向かってユリノキ通りが走り、大沼1丁目(一部)、2丁目(一部)、3丁目(全域)の645世帯で構成された自治会です。

以前は、上谷原地区の連合体の一組織として活動していましたが、平成10年に独立し、名称を大沼ゆりの木自治会に改めました。



日帰り研修旅行

現在は、会員同士の交流を目的に「日帰り研修旅行」「ふれあい納涼祭」「春のクリンデー」「秋の地区体育祭」「防災訓練」などのほか地域美化運動として毎月大沼第二・第三公園の清掃

を実施しています。また、社会福祉協議会の活動である「いきいきサロン」には毎月約40人の高齢者の方が参加され、楽しい時間を笑顔で過ごされております。

最後になりましたが、私たちの自治会役員を紹介させていただきます。会長1人、副会長2人、事務局1人、会計1人、理事3人、防犯推進員4人、防災委員3人、福祉協力委員3人、体育委員4人、クリン推進委員6人、組長27人で構成されています。地域の絆をモットーに地域づくりのため役員一丸となって自治会運営にまい進してまいりますので、皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

八丁目下組地区会



地区長 栗原 英之

八丁目下組地区会は、幸松地区に属し、国道4号線が通る古利根川沿いの地区です。春日部市消防団出初式では、今年も当地河川敷で一斉放水が行われて、色鮮やかな水のアーチが川の上に描かれ、多くの見物客を魅了しました。

当地区会は、約230世帯の会員で、役員は、地区長・副地区長・書記・会計・監事・相談役・顧問(3人)・組長(3人)・

班長(11人)・地区祭典委員(11人)・集会所受付係で構成され、さらに広域の市委嘱役員などとの連携により運営されています。



放水訓練

地区の美化活動としては、春と秋のクリンデー及び古利根川清掃。学校関係については、PTAの地区委員と連携して、児童の下校時見守りや通学状況の視察改善などを行い、特に幸松小学校では、地域の協力で鼓笛隊や児童のランナーが学校の周りを安全に周回しています。

夏祭りは、1,100mを提灯で飾り、八丁目の千貫御輿を迎え、子供御輿・山車の地区内渡御やお神楽の舞などで盛り上がります。秋は、敬老の日に80歳以上の長寿者に花束を贈ったり、親睦旅行などをしたりしています。さらに1月には新年会を行っ

ています。このほか防災訓練、体育祭、地域防犯、福祉ニーズ対策などは、他地区と連携で実施しています。

今後とも地区の皆様と共に安心と安全の住み良い地域を目指してまいりたいと思っておりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

赤沼自治会



自治会長 関根 寛治

赤沼地区は、市の東南端に位置し、西南に古利根川、北東に中川と川に囲まれた、自然環境に恵まれる農業振興地域が3割を占める緑豊かな地区であります。

赤沼地区には、特産の赤米を原料とした赤沼ロマンビールの製造販売や300年の伝統を誇る市指定無形民俗文化財の赤沼の獅子舞があります。

特に獅子舞の披露では、年々観客も増えて300人を超える人数となっております。

核家族化、少子化、高齢化さらには農地の住宅化が進んでいて、これらの傾向に対応する自治会活動の在り方が大きな課題となっております。

自治会は、新田組、新町組、下手組、上手組の4組で構成さ

れ、各組から会長又は副会長として1人ずつ、組長として各組正副2人ずつ、会計1人の合計13人が役員として選出されており、さらに各組には47人の班長がいますので、総勢60人の組織で運営しております。会員数は328世帯でありますが、加入率が70%と低いのも課題の一つとなっております。

活動は、安全安心な地域づくりと絆の強化を目標に次の各施策を実施しております。
①子ども見守り活動の充実



防災訓練

- ②子供会活動の充実
- ③高齢者いきいき対策事業
- ④春のクリーンデー活動への積極的参加
- ⑤赤沼軽スポーツ大会の実施
- ⑥納涼祭の開催
- ⑦資源回収を通じた会員相互の

コミュニケーションの推進
⑧農業資源の有効活用強化などがあります。

今後は会員各位の意見具申に十分に耳を傾けて、魅力ある自治会になるよう挑戦してまいります。



東中野区

区長 松嶋 昇

東中野区は、市の東端に位置し、古くから中野区として区を結成していたところ、春日部市と庄和町との合併に伴い、東中野区と地名が改正されました。

当地区は、ここ数年世帯数が増加し、平成27年度には900世帯を上回り、活性化が進んでいます。地区全体を8組57班の編成により、18人の役員で運営しています。

世帯数が増加するに伴い、若者や子供の数も増えているところから、地域内のコミュニケーションを取ることを最優先して年間の行事や人とのつながりを役員会を通して実行しているところです。

当地は、40年来の埼玉清掃組合（現環境センター）の最終処分場としての役割を終え、還元として一昨年記念集会所を建設し、そこを拠点として、区民が



獅子舞

集い親睦を図っております。

年間の大きな行事としては、8月の第一土曜日には東中野香取神社境内の広場で、納涼祭を執行委員150人の人たちの協力で行います。また、三世代グラウンドゴルフ大会を桜の名所となつていふれあい広場で実施しております。これらの行事の参加も年々多くなり、新しく居を構えた若い方や子どもたちの参加も増えていることがとてもうれしいことです。このほか、東中野獅子舞の伝承や同時開催の菊花展示会も地域の人に楽しんでいただいております。また、有事に備えての防災訓練では、電気・ガスを使わず薪でご飯を炊き、おむすびや豚汁を作る炊き出し訓練を実施するなど多くの事業を展開しています。

当地では、新しい住民の方も多くなっていますが、高齢者の

方もとても元気に活躍しております。ともかく地域全体が生き生きと動いているのが東中野区です。



桜区

区長 小久保 静夫

桜区は、庄和地区北部に位置し、東側の中川、西側の主要地方道松伏春日部関宿線に挟まれたところにあり、中央を国道4号バイパスが通っていて区が二分された純農村地域です。

世帯数は、58戸と小規模です。3地区（組）で構成された自治会は、区長、区長代理、会計、耕地代表（地区代表3人）の6人の役員で運営しております。

年間の主な事業は、5月の「春のクリーンデー」、7月の「大杉神社、香取神社の夏まつり」、10月の「庄和地区体育祭」、12月の「防災訓練」、1月の「新年会」3月の「総会」と他の自治会と同じような事業を行っています。夏祭りは桜区最大のイベントで、神社の神事に始まり、御輿渡御、辻斬りと続き、集会所に戻り昼食の後、市指定無形文化財の榎神楽連による神楽の奉納があります。特に、子どもたちによる神楽の奉納は、区の人々に拍手喝采をいただき大いに盛り上がり

りました。

その他には、組ごとに交替で行う集会所や富多神社の掃除、毎月のリサイクル活動なども行っています。

また、区では地域資源保全会を組織し、農用地、水路、農道などの資源及び農村環境の保全のため水路、農道などの長寿命化を進めていて、これらの作業を通して会員相互のコミュニケーションを図りながら明るく安全安心な地域になるようにと考えております。



榎神楽

立沼町会



町会長 並木 素生

立沼町会は、昭和52年（1977年）に内谷町会から分離独立し、今年で設立40年目を迎え

ました。市内7地区自治会連合会の中の粕壁地区に属しており、地区内では一番新しい自治会です。加入世帯は450世帯程度で、21組で構成され、市立病院の南側一帯の中央7丁目、中央8丁目、大沼4丁目の一部がエリアです。

町会活動は、地域住民の交流や子どもの育成を目的とした「町会3世代交流納涼祭」や「ラジオ体操」「町会レクリエーション」「町会もちつき大会」などの開催、「春のクリーンデー（市内一斉清掃）」や「市民夏まつり」「青少年の集い」「粕壁地区体育祭」への参加、防犯のための夏休み期間中の夜間の「青少年巡回補導」の実施などがあります。

さらに民生委員の方と町会関係者が協力して、4年前から60歳以上の単身者を対象に、毎月1回「ふれあいサロン立沼」を開催し、お茶会や歌、ゲームなどで参加者に楽しいひとときを過ごしていただいております。

町会として、現在特に力を入れているのが防災対策です。その一環として、今後発生が予想される首都直下型地震などに備え、災害発生時の緊急避難場所などを記載した町会独自の「防災マニュアル」を作成し、全世帯に配布するとともに、近隣の自治会との「合同防災訓練」や当町会主催の「防災講演会」を開催し、防災に対する意識の共

有化を図っております。

また、当町会は平成23年に始まった「春日部市災害時要援護者避難支援制度」のモデル自治会に指定されました。災害時に高齢者や障がい者の方々の被害軽減を図るため、地域で協力して避難支援を行うなど当町会独自の取り組みに一層力を入れて行きたいと考えております。

さらに、町会では3ヶ月ごとに町会広報紙「立沼町会だより」を発行し、全世帯に活動状況や今後の予定などをお知らせしております。

最後になりますが、今後も、地域の皆様に安心と安全をお届けする自治会として、役員一同さらに精励してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



町会3世代交流納涼祭

自治会連合会研修会報告（第1回）

平成27年10月29日、中央公民館にて自治会連合会研修会を開催し、講演会と地区事例発表を行いました。

講演会は、法政大学法学部教授の名和田 是彦（なわた よしひこ）氏を講師に迎え、「自治会の活性化と加入促進」をテーマに、ご講演をいただきました。まず、「自治会」というものができた歴史的な背景から紹介していただき、その後、現在の自治会を取り巻く社会的な環境の変化や、これからの地域活性化のためにはどんな方策が必要かなど、さまざまなご意見をいただきました。



ご講演をいただいた、名和田教授

講演の中では、「自治会加入率向上に特効薬はない」というお話がありました。価値観の多様化とともに、若者を中心に自治会に入るのが当たり前という意識が薄れつつある時世だからこそ基本に立ち返り、地域のあらゆる層のニーズに合った活動を行い、自治会の姿を見てもらうことで、自治会活動の必要性を知っていただくことが重要であるというご意見を聞くことができ、今後の活動の参考にしていきたいと感じました。

（第1回）

地区事例発表は、地区全体、または単位自治会で取り組んでいる活動を発表していただくもので、平成26年度から新たに始めた試みになります。2回目となる今年度は、内牧地区・栄町一丁目町の発表がありました。まず白坂町会長から、町会の概要について説明があり、そのあと「栄町一丁目シニアクラブ」の佐伯会長から活動紹介がありました。同クラブは、町会内のボランティア活動を目的として活動している団体で、町会とは別の組織ですが、町会と協力して防犯パトロールや広報紙の仕分け、公園の清掃等を行っています。平成21年の発足当初は17名で活動していましたが、現在は男性20名・女性15名の35名で活動しており、ボランティア活動だけでなく、体力保持や親睦・スポーツを楽しむことを目的として月曜日と木曜日にパークゴルフを行っているという紹介もありました。ボランティア活動とスポーツを組み合わせたことにより、参加者の皆様が楽しんで活動している様子を発表してくださいました。



栄町一丁目町会白坂町会長、栄町一丁目シニアクラブ佐伯会長、佐藤様

役員視察研修会報告

今年度の役員研修会の先進視察地として平成27年11月5日に所沢市を訪問しました。

研修会の会場である所沢市役所に到着すると、所沢市自治会連合会の方々とお沢市のマスコット「トコロん」が私たちを出迎えてくださり、市役所玄関前で、皆さんと記念写真を撮りました。

研修では、全国的に進んでいる自治会加入率低下による地域コミュニティ力の低下に対応するために所沢市で策定された「自治会加入促進マニュアル」について、その取り組みや成果等をお聞きしました。当自治会連合会も平成27年3月に「春日部市自治会加入促進実施計画」を策定し、平成28年に向けて「自治会加入促進マニュアル」を策定しているところであり、先進地である所沢市に、すでに運用を開始している同マニュアル策定後の成果等をお伺いしたものです。

所沢市では、同マニュアルの運用において、自治会への加入促進につなげるためには、市、自治会との連携が大切であるとのことでした。また地域でイベントを開催する際には、自治会に加入されていない方々にも積極的にイベントに参加してもらうことも重要であるとの意見もありました。

所沢市の取り組みなどをご紹介いただいた後は、意見交換を行いました。

当自治会連合会から「昨今、退会者が増え自治会の高齢化率が上がっているが、退会者防止策について何か参考になるようなことがあれば伺いたい」と質問したところ、所沢市からは、「一部地域ではあるが、高齢者の方に対し役職を免除するなどの策をとっているとのご回答をいただきました。また、「新住民をどのように加入させているのか」との質問には、PTAで活躍された方々を取り入れて、いずれ自治会の役員になつてもらえるように育成することも一つの策ではないかとのご意見をいただきました。今回の役員研修会も、限られた時間の中で、活発な意見交換が行われ、実りある役員研修会となりました。



地域貢献賞表彰報告

当自治会連合会では、身近な地域で地道にかつ立派な活動をされている方々の功績をたたえるため、平成20年度に地域貢献賞を創設し、今年度は平成28年2月13日に市民文化会館で表彰をさせていただきました。ここに受賞をされた皆様のお名前を掲載し、長年地域に貢献していただいたことに深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりに、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏名
川久保自治会	磯野 昂三
内谷町会	松浦 光男
内牧四区地区	新井美智子
梅田二区自治会	山崎 泰浩
備後上地区	小林ちづ子
備後須賀第四自治会	石川 昭
一ノ割新田・大沼自治会	江田 博
下谷原地区自治会	田嶋 隆
南中曾根地区会	中澤 清
新方袋連自治会	大村 芳夫
八丁目下組地区会	齋藤 博
小淵追分自治会	當摩 正雄
牛島4番地区自治会	珍田 正子
本田上自治会	大塚 宣行
三本木自治会	白濱 昭夫
六軒地区自治会	五反田 茂
米島駅南地区	小島 恵子
北部新宿区	川辺 好雄
水角区	野邊 周矩

*敬称略

自治会連合会研修会報告 (第2回)

平成28年2月13日に市民文化会館で開催された自治会連合会研修会で「地域コミュニティの活性化」をテーマに、落語家の三遊亭 楽生(さんゆうてい らくしょう)氏を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

講演では、言葉の待つ伝える力について、声の出し方ひとつとっても、人に物事を伝えやすくなったり、人に元気を与えたりすることもできるというお話をしていただきました。また、笑顔の重要性について、落語の小話に春日部高校出身ならではの話題を織り交ぜた軽快な語り口に、笑いが多い講演になりました。楽生さんは、客席に降りてきて、直接観客のみなさんとお話しをされるなど、最後まで観客の目を釘付けにしました。やはり、笑いがあると人の輪ができることを実感した、大変有意義な研修となりました。



自治会加入促進事業報告

当自治会連合会では、年々進む会員の減少・加入率の低下による自治会活動の鈍化・組織の弱体化をいかに食い止めるかを課題に、新たな取り組みとして自治会加入促進事業を実施しました。

1. 事業目的

自治会活動は、地域コミュニティの根幹であり、会員の減少、加入率の低下は、自主防災・防犯、ごみ収集、清掃活動など地域環境に多大な影響を及ぼし、共にまちづくりを進める市政にとっても特段の憂慮すべき事態となっています。

そこで、自治会活動の重要性を広く市民に知っていただき、自治会会員の退会防止と未加入者への自治会参加を呼び掛けるため、「自治会加入促進月間」を定め、一定期間に集中して市と自治会連合会が共同で啓発事業を実施したものです。

2. 加入促進月間の制定

平成27年10月26日(月)～11月25日(水) 1ヶ月間

3. 事業内容

① 駅頭キャンペーン事業

朝の通勤時間帯(午前8時～10時)に合わせて春日部駅の東西乗降口と南桜井駅の南北乗降口において、各自治会長はじめ会員の皆様にもご参加をいただき、加入呼び掛けと啓発品(加入促進チラシ、ポケットティッシュ、花の種)の配布を行いました。

【実績】 ● 10月26日(月)

春日部駅 参加者20人 啓発品配布数 500袋

● 10月27日(火)

南桜井駅 参加者14人 啓発品配布数 300袋

② パネル展示事業

各自治会で行っているイベントや行事、事業などの写真(約60点)を展示することで、自治会活動の重要性や楽しさをPRし、加入のきっかけづくりを行いました。来観者には、展示コーナー担当者(各自治会協力員)から加入呼び掛けと写真解説、啓発品配布を行いました。

【実績】 ● 11月11日～13日(3日間) 庄和総合支所

展示コーナー担当者12人 来観者・啓発品配布数 237人(袋)

● 11月18日～24日(土日祝除く4日間) 春日部市役所

展示コーナー担当者17人 来観者・啓発品配布数 450人(袋)

③ 加入相談事業

パネル展示会場(相談コーナー併設)において、自治会への加入方法や活動内容などの相談を各自治会から選出された相談員が受け付け回答しました。

相談者には、記念品(買い物バック)をお贈りしました。

【実績】 ● 11月11日～13日(3日間) 庄和総合支所

相談員6人 相談件数1件

● 11月18日～24日(土・日曜日・祝日を除く4日間)

春日部市役所

相談員9人 相談件数3件

加入促進事業にご参加をいただきました連合会会員の皆様、ご協力誠にありがとうございました。

加入促進事業の初年度ということで、促進月間を設け連合会としての活動PRはできましたが、未加入者の意識改革を図り具体的な成果を上げるには、さらにこれからの事業の積み重ねが重要になります。

当自治会連合会では、平成28年度も引き続き加入促進事業を展開してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



駅頭キャンペーンの様子(春日部駅西口)



パネル展示の様子(庄和総合支所)

春日部市犯罪情報の住民提供等に関する協定

平成28年2月16日、春日部市役所において、春日部警察署、春日部市、春日部市自治会連合会の3者で、「春日部市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結いたしました。

この協定における当自治会連合会の役割は、次の通りです。

- ① 提供を受けた犯罪情報について、地域住民への注意喚起への協力
 - ② 自治会内での安心安全メール(情報伝達媒体)の普及活動、警察活動への協力
 - ③ 犯罪情報を認知した場合の速やかな通報など
- 皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。



協定の締結式に臨んだ(左から)自治会連合会長、春日部警察署長、春日部市長

武里地区の紹介

武里地区は、市の南部に位置し、田畑が残る住宅地です。東武スカイツリーラインの武里駅、一ノ割駅を中心に東西区域で自治会を組織し、40自治会で加入世帯は、約1万4,800世帯です。

役員は、会長1人、副会長2人、理事7人、監事及び会計で組織して、会議は、定例総会、定例役員会、情報交換会を開催し、各自治会の連絡調整や行政機関、関係団体との連携を図るとともに、数々の地域コミュニティ活動を実施しております。

地区最大の事業は、武里地区体育祭で、例年武里小学校の校庭で開催しております。決して広いとは言えない校庭に12チームのテントが立ち並び、白熱した応援合戦が繰り広げられ、競技の成績に一喜一憂し、地域の友好促進に努めております。

さらに武里地区自治会連合会では、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、地域防犯推進員や学校との連携を密にし、防犯パトロールの強化に努め、子どもたちを犯罪や不審者から守るように地域ぐるみの防犯活動を実施しております。

これからも、誰もが安心して暮らせる明るく住みよい街づくりのため地域住民の生活環境と福祉の向上を目指し活動してまいりますので、よろしくご指導をお願いします。

武里地区自治会連合会副会長 金重 一夫

●武里地区自治会連合会(40自治会) [敬称略]

自治会名	代表者名	自治会名	代表者名
備後下自治会	荒井 勝利	一ノ割新田・大沼自治会	金重 一夫
備後東六丁目地区自治会	関口 守弘	薄谷自治会	石川 照二
正善第一自治会	高橋 泰稔	武里中野地区自治会	山崎 勇喜
正善第二自治会	上原十九三	白百合自治会	本堂 文和
備後田島自治会	遊馬 広志	武里みどり住宅地自治会	新實 茂
東急武里自治会	中村 充光	増田新田地区自治会	太田 哲男
備後上地区	上原 孝司	大場駅西自治会	上原 進
備後西川自治会	野澤 孝寿	大場中央自治会	佐々木輝夫
備後宮田自治会	橋本 和久	大場新田自治会	山崎 正義
備後同友自治会	佐久間 勝	大場谷中自治会	鈴木 晃
備後朝日ヶ丘自治会	長澤 英機	大場東口自治会	大出 利衛
備後須賀第一自治会	松井 正行	大畑自治会	山崎 令騎
備後須賀第二町会	久保谷 実	大枝地区自治会	伊澤 秀雄
備後須賀第三自治会	石川 實三	大枝南自治会	島崎 久子
備後須賀第四自治会	野村 幸男	シティプラザ自治会	岡本 秀穂
備後須賀第五自治会	釘持 盈	大枝池の端自治会	小笠原麻理
一ノ割本田第一自治会	針谷 明	大枝東自治会	庄野 豊
一ノ割本田第二自治会	増田 善孝	千間一丁目自治会	木名瀬 茂
一ノ割本田第三自治会	香山 幹男	5街区町会	唐澤奈美子
一ノ割根耕地自治会	松崎 忠悦	上川町会	飯田 義雄

*連合会名名簿順 (平成28年3月1日現在)

地域ぐるみでオアシス運動

オアシス運動は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、

オ：「おはようございます」
ア：「ありがとうございます」
シ：「失礼します(失礼しました)」
ス：「すみません(すみませんでした)」

を日ごろから言えるように、家庭・学校・地域などで「あいさつの輪」を広げましょう。

役職名	自治会名	氏名
会長	本田上自治会	時田 美野吉
副会長	元新宿町内会	関根 慶剛
	栄町二丁目町会	板倉 肇
	上蛭田西自治会	吉田 敏雄
	牛島4番地区自治会	鈴木 敏仁
	東中野区	松嶋 昇
理事	立沼町会	並木 素生
	大池町会	寛田 吉一
	大砂町内会	中村 正博
	春日町町内会	齋藤 富男
	内牧四区地区	野村 三男
	一ノ割新田・大沼自治会	金重 一夫
	大枝地区自治会	伊澤 秀雄
	5街区町会	唐澤 奈美子
	備後東六丁目地区自治会	関口 守弘
	備後須賀第四自治会	野村 幸男
	大沼ゆりの木自治会	田代 一

役職名	自治会名	氏名
理事	増戸地区自治会	小暮 恵治
	新方袋連合自治会	山口 潤
	上蛭田地区	関根 金次郎
	八丁目下組地区会	栗原 英之
	小淵島自治会	菱沼 和保
	赤沼自治会	関根 寛治
	銚子口自治会	日向 敏男
	米島駅南地区	石田 慎一
	木崎区	新井 義昭
	永沼区	林 忠雄
事務局長	本田下自治会	越沼 正一
会計	北部新宿区	今村 純雄
監事	栄町一丁目町会	白坂 主税
	谷原二丁目町会	高橋 宣雄
	樋籠第一地区自治会	市川 大倫

[敬称略]

自治会連合会役員一覧

編集後記

昨年の9月に台風18号の影響で関東や東北で記録的な豪雨が降り続き、茨城県常総市三坂町では鬼怒川の堤防が決壊し、大規模な浸水被害に見舞われました。当市におきましても、この台風18号の影響により、道路冠水、浸水被害など甚大な被害を受けました。

この災害を教訓とし自治会、町内会を中心としたご近所同士の助け合い、地域の支え合い、そして安心して暮らせるまちづくりのために、もう一度、自治会の必要性について考えてみませんか。

また、当自治会連合会では、昨年より市と共に自治会加入促進月間を設け、自治会加入の意識を高める取り組みを一定期間に集中して行っております。

「いざい」という時は、地域住民が助け合える自治会を目指してまいりますので皆様方のご理解とご協力ををお願いいたします。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 関根 慶剛
- 副会長 板倉 肇
- 副会長 吉田 敏雄
- 副会長 鈴木 敏
- 副会長 松嶋 昇

発行日 平成二十八年四月一日

発行者 春日部市自治会連合会

事務局 春日部市役所市民参加推進課内

〇四八(七三六)一一二七